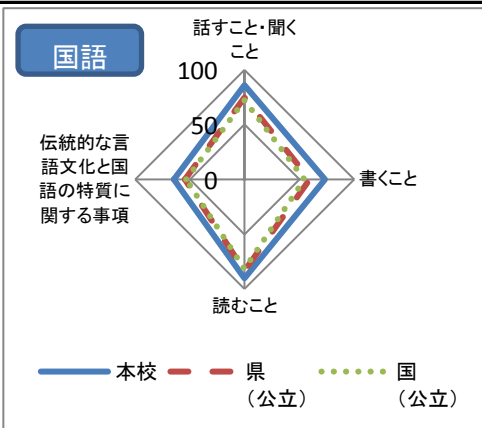


平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【国語】

海田町立海田小 学校

本年度正答率(本校77%, 県66%, 国63.8%)

本年度の結果について



○全体的な傾向について

国語の結果において、全体の通過率は、77%であり、全国平均を13.2%上回っており、全国平均、県平均と比べると、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられる。一方、領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、64.7%の通過率となっており、漢字を文中で正しく使うことができていない。また、目的や意図に応じて書く力に課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果

昨年度、「視点を与えた振り返り」を意識して授業改善を行った。単元ごとに付けたい力を明確にして授業を行ったり、何のために読むのかという目的意識を明確にした授業を行うことで、目的や意図に応じ、資料の中から必要な情報を取り出す力に成果が見られた。一方、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を書くことは、引き続き課題が見られる。

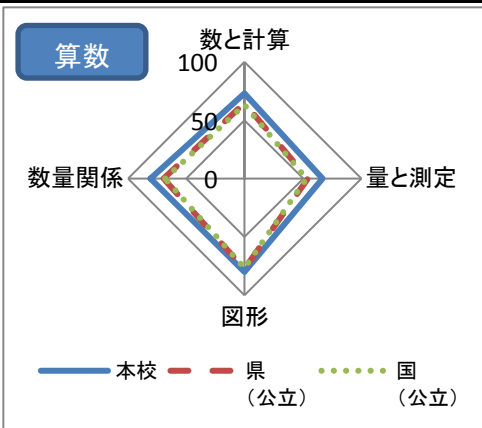
重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
【課題1】 文の中で適切な漢字を使うことに課題があった。 関心(通過率36.4%) 対象(通過率65.5%)	・新出漢字を学習する際には、短文を作る学習を取り入れる。 ・新出漢字を学習する際、同音異義語や間違えやすい漢字を並行して教えるようにする。	漢字学習 + α
【課題2】 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られた。(通過率47.3%)	・目的や意図をもって資料を読み、必要な情報を関連づけた上で条件に合わせて書く活動を取り入れる。 ・「問われていることが分からない」、「自分の考えをまとめられない」といったつまづきの段階を把握し、指導に活かす。	目的と考えをもって アウトプット

令和2年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
全体【80】 話すこと・聞くこと:90 書くこと:75 読むこと:90 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項:75

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 CRT	NRT	5・6年生 学年末テスト
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	全国平均を上回る	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 CRT	NRT	5・6年生 学年末テスト
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	全国平均を上回る	80%
実施後数値							

本年度正答率(本校75%, 県68%, 国66.6%)

本年度の結果について



○全体的な傾向について

全体の正答率では、75%で全国平均を8.4%上回った。広島県平均と比較しても基礎的・基本的な知識や活用については一定の定着が見られる。領域別に見ると、量と測定領域に課題が見られる。また、知識を問う問題において、公式そのものは理解しているものの、定義や意味までは理解できていないという課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果

昨年度は、棒グラフを読み取ることに課題があった。グラフを読み取る学習を充実させ、数値と単位を確認するなどの活動により、正答率96.4%と成果が出た。一方、公式の意味を説明することにおいて、関係を理解できるよう実感を伴う活動を仕組んだが、公式の意味を説明する問題に依然として課題が見られる。

重点課題

【課題1】

示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を記述することができていない。(正答率25.5%)

【課題2】

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できていない。(正答率47.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ・正しく算数用語を使う。(こそあど言葉を使わない)
- ・学年で学習する加減乗除の式の意味を自分の言葉で説明できるようにする。

- ・どの教科においても、結論先行、筋道を立てて説明をする習慣をつける。
- ・図、式、言葉をつなげて考え、表現させる。

全校での目標(キャッチフレーズ)

言葉で分かる 説明しよう
～具体化、抽象化～

型で書く
～「まず」、「次に」、「そして」、「最後に」～

令和元年度 全国学力・学習状況調査 数値目標

全体【78】
数と計算:75
量と測定:75
図形:80
数量関係:80

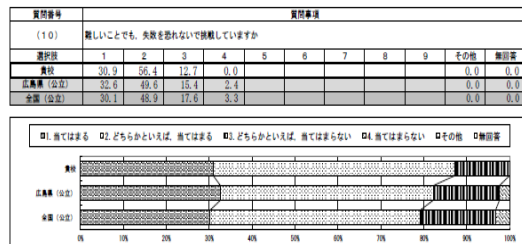
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 CRT	NRT	5・6年生 NRT
目標値	80%	85%	85%	85%	80%	全国平均を上回る	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 CRT	NRT	5・6年生 NRT
目標値	80%	85%	85%	85%	80%	全国平均を上回る	80%
実施後数値							

平成31年度(令和元年度) 指導方法等の改善計画について【質問紙】

海田町立海田 小学校

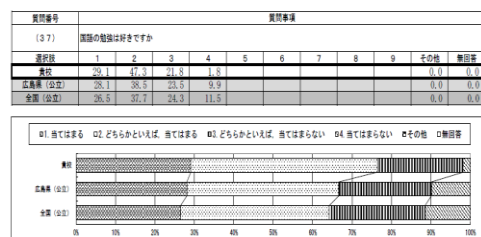
(全国学力・学習状況調査 質問紙)

(1)生活・学習



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
(10)「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」の項目において、肯定的回答は、87.3%であるが、その中でも積極的肯定的回答は、30%であり、県平均を下回っている。	○主体的な学習を意識して授業改善を行う。 ○行事や特別活動、総合的な学習の時間を中心に成功体験、また、失敗した後、成功した体験を積ませる。「失敗して終わる」にしない指導を行う。	6	失敗を恐れないで挑戦することができるという項目の積極的回答の割合40%	CRTにおけるiチェック	2月		

(2)教科



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語 (37)「国語の勉強は好きですか」の項目において否定的回答が23.6%であり、県、全国平均よりは少ないが、課題があった。	○国語科の授業で、主体的な学びになるよう、単元構成や言語活動を工夫する。 ○各学年に応じた語彙力を授業や基礎タイムで身に付けさせることで、読むことに関する抵抗感を減らし、意欲的に読めるようにする。	全	否定的回答15%未満	児童アンケート	2月		
算数 (48)「算数の授業の内容は、よく分かりますか」の項目において、否定的回答が児童が、10.9%だった。県、全国平均よりは少なかったが、課題があった。	○算数科の授業で、児童が既習とつなげて考えられるよう工夫する。また、学んだことを生活につなげて考えられるよう工夫する。 ○式の意味を考える際、算数用語を使用し、図、式の説明などに活用させる。	全	否定的回答15%未満	児童アンケート	2月		

